

耳 鳴

「セミが鳴いていると思ったら、周囲の人が鳴いていないよ、というので耳がおかしいのではないかと思った。」これは典型的な耳鳴の訴えで、このように外界で音がしていないのに、耳や頭の中で聞こえる音を耳鳴といいます。耳鳴がして大変気になったり、イライラしたり、眠れなかったり、聞こえにくいと悩んでいる人が大勢いる一方で、耳鳴がしていても全く気にしない人もいます。

体の中で音がすると、その音は耳鳴として感じられます。たとえば、外耳道の耳垢や異物が原因となることもありますし、鼓膜に付着している小さな筋肉の痙攣であったり、頭や頸の筋肉の緊張であったり、心臓の鼓動、呼吸する音、血管を流れる血液の音などが耳鳴となると考えられます。以上のように、音源が体の中にあってその音が耳鳴として聞こえている場合もあるのですが、大部分の耳鳴は体の中に音源のないものが多く、それらの耳鳴の起こる理由は解りにくいものが多いのです。

耳鳴を伴う耳の病気には、メニエール病、突発性難聴、音響外傷、老人性難聴、聴神経腫瘍や抗生物質の副作用等がありますが、高血圧症、低血圧症、貧血、高脂血症、心疾患、うつ病等様々な耳以外の病気で起こる耳鳴もあります。ある耳鳴を訴えている方を検査した所、高度の貧血が見つかり、この貧血の原因を捜すうちに胃がんが見つかりました。耳鳴のする場合は、それが気になるかならないかに拘わらず、専門医に相談されて必要なら全身的な検査も受けるべきでしょう。

先にも述べましたように、いろいろと重大な病気が潜んでいるかも知れないからです。

平成7年3月

宮前 雅明